

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

| | |
|------|----|
| 東淡路小 | 学校 |
|------|----|

| | |
|-----|----|
| 児童数 | 63 |
|-----|----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 15.94 | 18.97 | 33.50 | 43.81 | 49.09 | 9.38 | 150.69 | 21.67 | 53.72 |
| 大阪市 | 15.78 | 19.09 | 32.72 | 38.56 | 45.05 | 9.52 | 147.96 | 20.45 | 51.13 |
| 全国 | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90 | 9.50 | 150.42 | 20.75 | 52.53 |
| 女子 | 14.27 | 18.90 | 34.10 | 38.33 | 33.67 | 9.99 | 139.57 | 14.43 | 51.61 |
| 大阪市 | 15.64 | 18.06 | 37.62 | 36.76 | 34.65 | 9.83 | 139.56 | 12.71 | 52.47 |
| 全国 | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59 | 9.77 | 143.13 | 13.15 | 53.92 |

結果の概要

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において男子は、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳びの記録は、全国平均、大阪市平均を上回った。女子は、上体起こし、ソフトボール投げの記録は、全国平均、大阪市平均を上回った。体力合計点においては、男子は全国、大阪市平均を上回り、女子は下回った。体力合計点は昨年度（R5男子49.77、女子53.45）と比べて男子は記録を上回ることができた。

運動は好きですか等の運動意欲に関する質問に対する肯定的な回答の割合は、全国平均に比べ、男子は上回り、女子は下回った。ただ男女とも最上位の「好き」の割合は、全国平均を上回った。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は少し全国平均を下回り、女子はや多かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度も、課題解決に向け、業間なわとびや業間かけ足といった体力づくりの取組を計画的に実施した。また児童の運動委員会が計画した昼休みの運動遊びのイベントもあり、体力づくりや運動意欲の向上など、一定の成果を上げることができた。6月に行った新体力テストでの体力合計点は昨年度に比べて、男子は3.95ポイント上回り、女子は1.84ポイント下回っていた。運動意欲に関する質問に対して最も肯定的な「好き」と回答した割合は男女ともに、全国平均を上回った。一方、テレビ、スマホ、ゲーム機などのVDT機器を学習以外で3時間以上使用する児童の割合が、男子で40.7%（国44.4%）、女子で38.8%（国37.0%）と、女子では若干であるが上回った。

今後より多くの児童が、体力・運動能力の向上に意欲的に取り組めるような取組を計画していく必要がある。また生活習慣に関しては健康保持の面からも生活指導の面からもスマホの使い方について、より考えていく必要がある。